

昨年度下半期の活動報告（概要）

山形県作業療法士会では、研修事業として、認知症基礎研修、学術研修大会（認知症分科会）を開催した。また介護予防事業として「認知症出前講座」、一般公開講座「認知症フォーラム」を実施した。

認知症基礎研修では「臨床における認知症の困りごとディスカッション」として、若手のOTが担当した事例をもとに課題解決型ディスカッションを実施した。若手にとっては即業務に活かせるヒントを得る場となり、ベテランにはやりがいを得られる良い機会となった。

学術研修大会では京都橘大学健康科学部作業療学科長の小川敬之先生を招聘し、「認知症の方と共に作業療法士が地域でできることをテーマに、地域における認知症の方との共生について、就労的支援などの活動から社会参加につなげるノウハウ等を学んだ。

認知症出前講座は、一部の自治体から依頼があり、新たに通いの場継続支援事業にて実施した。認知症フォーラムは、認知症カフェや病院主催の健康祭り等で開催した。

世界アルツハイマー・デーでのイベントの企画

例年同様、一般向け認知症作業療法パンフレット（右最下図）の紹介を県士会ホームページやSNS等に掲載し、認知症の理解を深めるための情報発信と希望者にはパンフレットの配布を行う予定である。

認知症の人と家族の会との連携事業

認知症の人と家族の会山形支部、若年性認知症のつどい「なのはな」への参加を継続しており、軽体操や介護の相談、情報交換会に協力している。

今年度の認知症関連事業（士会独自の取り組み）

認知症基礎研修として、9/6に協会の認知症アップデート研修会を実施予定である。

第3回山形県作業療法学術研修大会として、11/30に宝塚医療大学教授 上城憲司先生をお迎えし、認知症の人のBPSD対策と家族支援をテーマにご講演をいただく予定である。

認知症出前講座は、自治体の通いの場継続支援での活用の依頼が徐々に増えており、随時、対応していく。また、市町村担当者から自治体職員へ、出前講座を含む介護予防を目的とした講座の宣伝も予定している。

認知症フォーラムでは、協会が作成した「生活行為を続けるためのヒント集-改訂版-」の活用を検討中である。



認知症フォーラムの様子



認知症出前講座の様子



一般向け認知症作業療法パンフレット